

台湾・輔英科技大學との国際交流協定(MOU) 締結に向けた教員訪問報告

阿部薫¹⁾、柴山純一²⁾、瀧口徹²⁾

1) 新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科

2) 新潟医療福祉大学 医療情報管理学科

【背景・目的】 2019年5月、演者の阿部は台湾・高雄市で行われたセミナーに講師として出席した際、現在、修士課程1年在学中の留学生である林維政氏の紹介により、同氏の母校である輔英科技大學(Foo Yin University)を表敬訪問した。同大学の顧志遠校長先生、国際長の黄登成先生はじめ、各先生方の歓迎を受け、大学の概要説明と学内施設の見学をさせて頂いた。

輔英科技大學は1958年に創立された私立大学で、前身は看護学校として出発し、その後大学へ移行して、2002年に「輔英科技大學」と改称して現在に至る。4学部16学科を擁し、在籍学生は約9500名、学部学科構成は次の通りである。

- ・看護学部(看護学科、助産学科、健康事業管理学科、老年介護事業学科)、

- ・医療健康科学部(医科学学科、理学療法学科、健康栄養学科、健康美容学科)

- ・環境生命科学部(環境工学科、応用化学材料学科、職業安全衛生学科、バイオテクノロジー学科)、

- ・人文経営学部(情報管理学科、観光産業管理学科、幼児保育産業学科、応用外国語学科)

これらの学部学科は、本学と同一または共通する分野も多く、先方から国際交流協定(MOU)締結の打診があり、持ち帰って検討することとした。

【方法】 帰国後、久保国際交流センター運営委員長へ相談の上、国際交流協定締結計画書を同委員会へ提出し承認を得た。続いてMOU締結に向けた本学教員による訪問を実施するため、国際交流事業計画書を提出し承認が得られたため、輔英科技大學を訪問することとした。

訪問した教員は柴山純一教授(医療情報管理学科長)、瀧口徹教授(医療情報管理学科)、阿部薫教授(国際交流センター運営委員)の3名であった。

輔英科技大學は台湾第二の都市である高雄市(人口227万人)にあり、新潟からは新幹線→成田空港→高雄空港の経路を使用した。

なお、本報告に関連する利益相反はない。

【結果】 2019年8月28日、本学教員3名は林維政氏(本学修士1年)と共に輔英科技大學を訪問した。日程は次の通りであった。

1. 歓迎会談

1) 歓迎の挨拶(顧志遠校長)、出席者紹介

2) 来賓挨拶(柴山純一教授)

3) 輔英科技大學紹介(黄傑康先生)

4) 新潟医療福祉大学紹介(瀧口徹教授)

5) MOU締結に向けた会談

6) 記念品交換

7) 記念撮影

2. 学内見学

1) 理学療法学科

2) 情報管理学科

3) 健康経営学科

4) 老年介護事業学科



図1 本学の柴山純一教授による挨拶



図2 両大学関係者による記念撮影

【結論】 本学の学部学科と同一または共通する分野も多いため、全学事業として協定の締結を行い、教員/学生の交流を促進することで合意した。今後はどちらかの学長(校長)が相手校を訪問し、締結式典挙行のための日程調整を行うこととなった。

具体的にどのような交流を実施すれば双方にメリットがあるのかを検討し、今後の計画を立案して行く予定である。

謝辞

今回の訪問は国際交流センターの2019年度国際交流事業費の交付を得て行われた。ここに深甚なる謝意を表します。